

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 廿日市海岸（扇新開地区）耐震性能評価業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 地震・耐震

ボーリング名		R02-No. 1		調査位置		広島県廿日市市地御前地先				北緯		34° 20' 34.5"									
発注機関		広島県西部建設事務所廿日市支所				調査期間		令和3年 3月 16日 ～ 令和3年 3月 22日				東経		132° 19' 33.2"							
調査業者名				主任技師		現場代理人		コ ー ー 定 者		ボーリング責任者											
孔口標高		T. P. 4.70m		角		180° 上下 90°		方 位		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配		鉛直 90°		使用機種		試験機		TOHO D-1B58	
総削孔長		40.00m		度		0°		位		エンジン		YANMAR NFD12		ポンプ		TOHO BG-3C					

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試験採取	室内位置試験	削孔月日
												深度－N値図												
(m)	(m)	(m)								事		N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試験採取番号	試験方法				
												値	(m)	0	100	200	300	(m)						
1				礫質砂		暗灰／褐	非常に緩い～緩い			盛土材料：マサ土 中粗砂を主体とし、角礫を混入する。	03/16 3.9C		3	1.15	2	1	3	1.15	P1-1	⊖	比重、粒度、液塑性			
2		1.45											180	120	300	1.45	P1-1	⊖						
3		2.15											2	1	4	2.15	P1-2	⊖	粒度					
4		2.46											130	80	310	2.46	P1-2	⊖						
5		3.15											1	2	4	3.15	P1-3	⊖	物理一式					
6	-1.20	5.90		礫泥じり砂		暗褐	rd2		盛土材料：マサ土			4	3.46	1	150	90	310	3.46	P1-3	⊖				
7	-2.40	7.10										4	4.15	1	1	3	4.15	P1-4	⊖	粒度				
8												3	4.45			300	4.45	P1-4	⊖					
9												8	5.15	3	2	3	8	5.15	P1-5	⊖	粒度			
10												9	5.45			300	5.45	P1-5	⊖					
11				礫質砂		暗灰	rd3		不均一な砂層 砂は粗砂、細礫を含む。 所々に有機物を混入する。			9	6.15	3	3	3	9	6.15	P1-6	⊖	粒度、液塑性			
12		6.45												300	6.45	P1-6	⊖							
13		7.15										3	4	4	11	7.15	P1-7	⊖	粒度、液塑性					
14		7.45												300	7.45	P1-7	⊖							
15		8.15										5	5	6	16	8.15	P1-8	⊖	粒度					
16		8.45												300	8.45	P1-8	⊖							
17		9.15										6	7	7	20	9.15	P1-9	⊖	粒度					
18		9.45												300	9.45	P1-9	⊖							
19		10.15										4	4	4	12	10.15	P1-10	⊖	粒度					
20		10.45												300	10.45	P1-10	⊖							
21				細粒分混じり礫質砂		暗灰	非常に緩い～中くらい		砂は細中砂を主体とし、細礫を含む。 臭気有り。 下位層より細粒分が多い。			21	11.15	6	7	8	21	11.15	P1-11	⊖	粒度			
22		11.45												300	11.45	P1-11	⊖							
23		12.15										5	6	6	17	12.15	P1-12	⊖	物理一式					
24		12.45												300	12.45	P1-12	⊖							
25		13.15										5	5	6	16	13.15	P1-13	⊖	粒度					
26	-2.30	14.00		細粒分混じり礫質砂		暗灰	非常に緩い～中くらい		砂は細中砂を主体とし、細礫を含む。 臭気有り。 下位層より細粒分が多い。			5	13.45	2	1	2	5	13.45	P1-14	⊖	粒度			
27		14.47												140	60	120	320	14.47	P1-14	⊖				
28		15.15										1	1	1	3	15.15	P1-15	⊖	比重、粒度、液塑性					
29		15.45												300	15.45	P1-15	⊖							
30		16.15										1	1	1	3	16.15	P1-16	⊖	物理一式					
31	-12.10	16.80		細粒分混じり礫質砂		暗灰／黒灰	緩い～中くらい		全体的に灰色の中粗砂と細礫の礫質砂に黒灰色のシルトが混入する。 GL=20m付近は砂分が優勢となり GL=21m付近はシルトが優勢となる。			1	16.45				16.45	P1-17	⊖	比重、粒度、液塑性				
32		16.75												300	16.75	P1-17	⊖							
33		17.15										2	1	2	5	17.15	P1-18	⊖	比重、粒度、液塑性					
34		17.45												300	17.45	P1-18	⊖							
35		18.15										2	2	3	7	18.15	P1-19	⊖	比重、粒度、液塑性					
36				細粒分混じり礫質砂		暗灰／黒灰	緩い～中くらい		全体的に灰色の中粗砂と細礫の礫質砂に黒灰色のシルトが混入する。 GL=20m付近は砂分が優勢となり GL=21m付近はシルトが優勢となる。			7	18.45				18.45	P1-20	⊖	物理一式				
37		19.15										2	3	5	10	19.15	P1-21	⊖	粒度、液塑性					
38		19.45												300	19.45	P1-21	⊖							
39		20.15										6	7	8	21	20.15	P1-22	⊖	比重、粒度、液塑性					
40		20.45												300	20.45	P1-22	⊖							
41				細粒分混じり礫質砂		暗灰／黒灰	非常に緩い～中くらい		全体的に灰色の中粗砂と細礫の礫質砂に黒灰色のシルトが混入する。 GL=20m付近は砂分が優勢となり GL=21m付近はシルトが優勢となる。			8	21.15	2	2	4	8	21.15	P1-23	⊖	比重、粒度、液塑性			
42		21.45												300	21.45	P1-23	⊖							
43		22.15										5	5	4	14	22.15	P1-24	⊖	比重、粒度、液塑性					
44		22.45												300	22.45	P1-24	⊖							
45	-18.30	23.00											有機								1	23.15	1	
46		23.48			300	23.48	P1-25	⊖																

